



こども食堂の現状 & 困りごとアンケート結果

- 回答期限 : 4.13(月)17時～4.17(金)12時
- 回答者 : むすびえの地域ネットワークおよび
こども食堂ネットワークとつながるこども食堂
(各メーリングリストにより回答を呼びかけ)
- 回答数 : 35都道府県231団体
- 実施 : NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ、
こども食堂ネットワーク
-

1 こども食堂の実施状況(3月・4月比較)

3月

回答	軒数	%	%
通常どおり開催	19	8.2	20.7
通常より回数を増やして開催	13	5.6	
通常とは異なった開催	16	6.9	
お弁当の配布	42	18.2	41.1
食材等の配布	49	21.2	
食材等を宅配	4	1.7	
休止・延期	82	35.5	35.5
検討中	2	0.9	0.9
その他	4	1.7	1.7
計	231	99.9	99.9

4月

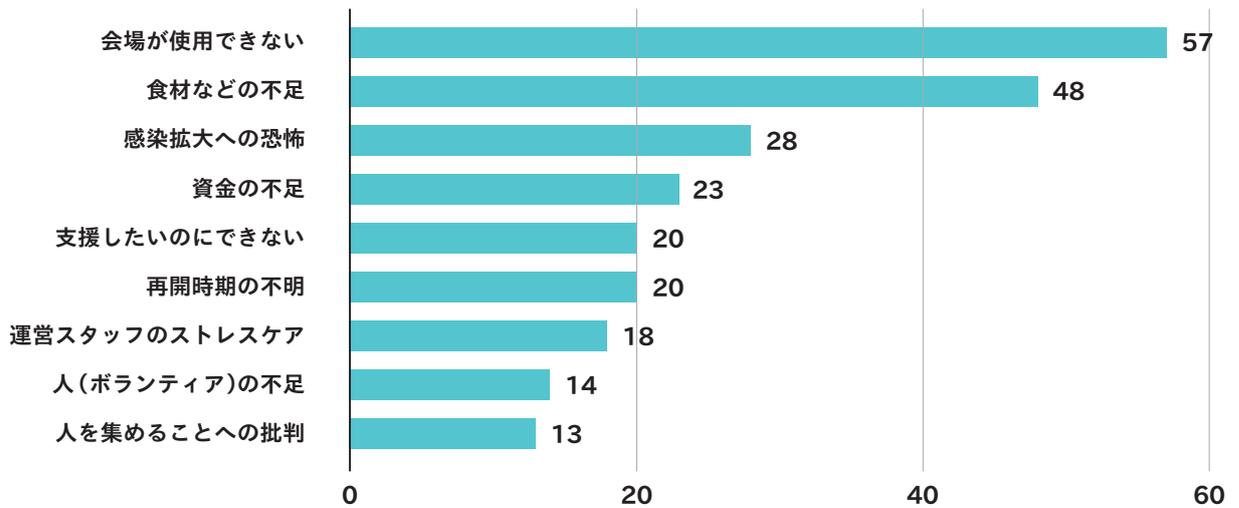
回答	軒数	%	%
通常どおり開催	9	3.9	10
通常より回数を増やして開催	5	2.2	
通常とは異なった開催	9	3.9	
お弁当の配布	49	21.2	46.3
食材等の配布	51	22.1	
食材等を宅配	7	3	
休止・延期	89	38.5	38.5
検討中	11	4.8	4.8
その他	1	0.4	0.4
計	231	100	100

アンケートからわかること

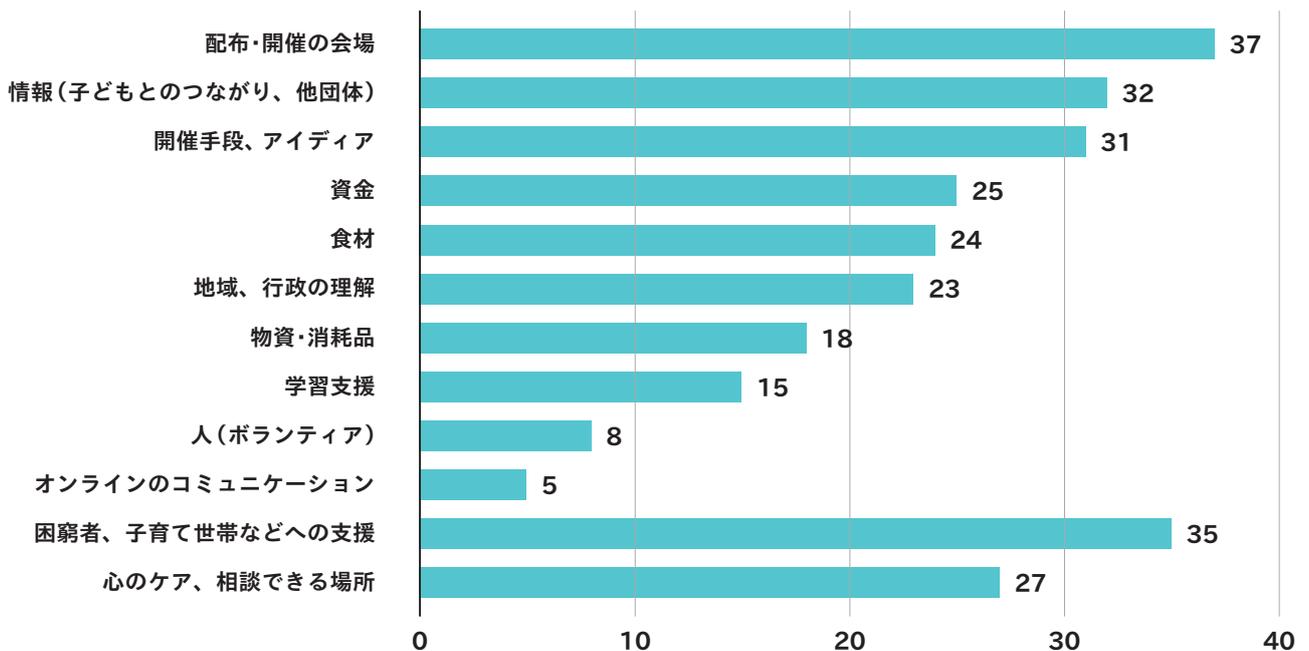
・3月→4月の推移を見ると、「こども食堂の開催」は難しくなっています(10%減少)。「通常とは異なった開催」には、「回数を減らす」「参加者を困難なご家庭に制限する」「食事抜きで居場所のみの開催」「屋外などでの開催」と、新型コロナウイルスの感染拡大を予防しながら開催する苦心が見られました。

・新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、活動が「こども食堂の開催」→「お弁当や食材の配布(特定の場所に取りに来てもらう)」→「食材等の宅配(自宅に届ける)」という形で推移していると推測される。お弁当の配布、食材等の配布、食材等の宅配は複数の活動を行なっている箇所も見られた。

2 こども食堂での困りごと



3 いま、必要な支援



アンケートからわかること

・現状では、「人が集まること」は難しく、公共施設を中心に「会場の確保」は課題となっている。また「食材等の配布」「食材等の宅配」は、通常のこども食堂の開催より、金銭的な負担が大きく、食材や資金などの支援が求められている。

・今回の新型コロナウイルスをめぐる対応のなかで、通常のこども食堂開催時より、困難な状況にある子どもやご家庭とつながる機会が多くなったが、十分な支援を届けられない現状がある。

4 アンケートからの抜粋

パントリー(食材等の配布)

[費用]

- ・子ども食堂よりパントリーの方が食費が倍かかり継続に不安を抱えている。(山形県)
- ・自ずとキャパもあるので際限なく作る訳にはいかず、でも必要だからいらしてくださっていると考えれば何かはお出ししたいので、レトルト食品やご飯なども常備しているため、平常運営時より費用が嵩みます。(埼玉県)
- ・お弁当配布も12日間145食配布しましたが、疲れました。(静岡県)
- ・コロナで休校になってからは、水曜日金曜日日曜日の1時から4時まで、食べ物おすそ分けの会をしています。先週からは水曜日と日曜日に開けています。これまでは自由に子どもたちが、遊べる環境を作っていました。店先で手洗い講座を実施して、手洗した人から両手に持てるだけの食材を渡しています。「この場所に来るまでが散歩」という趣旨で、活動しています。(愛知県)
- ・こども食堂開催の為の助成金を、開催ができないので弁当配りによる個別対応に切り替えているが、この食材費を助成金から出せないか相談に行くが断られる。緊急事態なのだから柔軟に対応してもらいたいと思うのだが、そんなことを許せば何でも許してしまうという固い発想を何とかして欲しいと考えています。(和歌山県)
- ・3月はほとんど毎週何かおこなってきた(お菓子配布や昼食提供、提供数は50～60)が4月も毎週となれば自己資金のため限界がある。(熊本県)
- ・ふるさと納税のようにボランティアなどの社会貢献で、特産品が送られてくるなど、いいことがあればいいのになぁと思います。(千葉県)
- ・休業中の食堂、レストラン支援の意味も含めて、そこでのお持ち帰り用弁当等の作成が出来れば、継続可能、但しレストラン・食堂の支援も同時に必要なので、こども食堂自身の予算、利用者からの料金徴収のみでは、資金が足りないと思われるので、お弁当一個当たり数百円程度の補助金があれば、実施可能。(神奈川県)
- ・必要なものは、支援金です。以前は、10個から20個程のお弁当の提供でしたが、名古屋市独自の緊急事態宣言が出てから、お弁当の個数がかなり増えました。必要な方が増えたのに、資金がありません。(愛知県)

[保険]

- ・あと保険です。食中毒の保険を取り扱う保険会社が限られるようです。これまでの保険から保障内容を充実させます。保険料も相当かかっています。(回数を増やしたので) (熊本県)

・保険の問題。シンママさんが仕事に出かけられる前にお子さんをお預かりしに行くのですが、その送迎車の保険や、コロナ感染自体の保険適用がないことへの不安は大きいです。(熊本県)

・保険に関しても、助成してもらっている団体は有るが、感染に伴うもの、配食に伴うものなどに、制限があったりとするため、新たな保険加入(無いように充実したもの)は金額が高いため加入に検討中、こんななか、開催をするのはなかなか難しい。リスクの重さ。(熊本県)

[困窮]

・回を増す毎に本当にこれを(週1のお弁当配布であっても)必要としている方々がリアルに増えているようで、お弁当の数も増えていること。(埼玉県)

・はじめてパントリーを開催してみて、普段のこども食堂への参加者とは全く層がちがい、現実的な状況を目の当たりにして正直びびった。いかにふだんのこども食堂が青信号の人たちにカムフラージュされていたのか知った。(東京都)

・3月末~4月6日までは課題を抱えている方を優先的に食材等の配布を行っていましたが、4月13日現在で5kg入り米が一袋のみ。食材の在庫がなく配布したくても出来ない状況です。今日4/14~5/6迄〇〇市内の県立高・小・中が学校休校になり、小学生2人保育園1人のいる4人家族の方(シンママ)から「1日にお米を1升炊いても足りない~やっと学校始まり給食が始まるって安心してたのに家計が圧迫される。5月になってもまた休校って言われたら…」と不安な声を寄せられ、その方には最後のお米でしたが、お渡しいたしました。(熊本県)

・休校中は食費がかかりすぎて、不安を感じているという声が多く聞かれます。(群馬県)

・保育士などで働かざるをえないシングルマザーの方がトイレットペーパーを買いに薬局に並ぶことができない、多子世帯のシングルマザーの方の子どもたちの食事の準備ができなくて困っているなどの声を聞いています。(東京都)

・一番、必要なのは自宅待機になっているこども達が毎日、きちんと食事を取れるように行政が希望家庭にだけでも登校、給食等を食べさせる事だと思います。自宅待機期間が長くなればその分、家庭内が見えてこないため虐待も含めてSOSが出せない状況が危惧されます。(東京都)

・子ども食堂的価値観から言えば、食事なので、給食だけ時間をずらして食べに来るノルウェー?のような支援もありだと思います。給食だけ宅配をしても良いと思うくらい。または、給食で不要になった食材の再配布、各家庭に。(なるべく宅配)もちろん、国や市町がもち家庭からの費用を取らずに。(福井県)

・今回の事でこれだけ長期になると親の収入減少によって対象の子ども達はもっと増加する傾向にあると思われる。自分達がどれだけ頑張ってきたも、実際には何もできないのだから、言われても仕方がないのかもとネガティブに考える自分がいる。(青森県)

・給食が無いことで支援が必要な家庭へ直接食材を数回届けています。子ども食堂の活動に協力的な学童からの相談で「支援が必要な家庭」へ繋いで頂くことが出来ましたが現状は潜在的にまだニーズはあると感じています。(岩手県)

・休校期間中に5回のパントリーを開催しましたが、毎回ものすごい勢いで申し込みがあります。お困りの様子、ニーズを感じています。(埼玉県)

・休校になった今、給食などで命を繋いでいたこどもたち、家にいたくないのに在宅を余儀なくされているこどもたち、各家庭での虐待など、見えないこどもたちが心配です。(埼玉県)

・今後もまだこのコロナウィルスの収束には時間がかかると思います。すでにうちの関係者の中に仕事が無くなり、経済的に困窮している母子家庭や、DVで母子が行方不明になっている家庭もできています。(東京都)

・今回、なかなかみえなかった、シングル家庭へ口コミで繋がり、5年もやっていた食堂の存在を知らなかったとわかり、難しいと思いました。でもコロナは嫌ですが、こういうことから、本当に必要な人につながる事が、できたという不幸中の幸いのようなことがよかった。(東京都)

・3月5日～5月1日まで給食が無くなって困っている小学生を対象に毎日無償でお弁当を配っています。最初は20食の注文が今では80食強の注文が来ています。(神奈川県)

・あるお母さんは食物はみなさんの団体が毎週末持って来てくれるからどうにかなるけどオムツが買えないんですと言われた時はとても衝撃的でした。すぐ孫のオムツを持っていきましたがお母さんは涙ぐんでいました。現金が入らないってこういうことなんです。家賃も払えなくなり不安しかなくなっていきます。私達のすることはたかが知れています。どれだけご家族に寄り添えるでしょうか？ご家族を守りたい、スタッフも守りたい。私達に何ができるでしょうか？ 私たちがつながるご家族は生活困窮、孤食、孤立を全て合わさったご家族です。だんだん家庭内暴力が増えてきました。自殺者がでないことをただただ祈っています。大声で 助けて と叫びたいです。(神奈川県)

・新年度、2日だけ登校しましたが、子どもがシラミをもらって帰ってきました。貧困家庭の家庭環境が心配です。(熊本県)

・コロナ離職や、仕事の激減など親の環境も思っているより深刻な家庭が見受けられます。そのあたりの声を拾う事も微力ながら地元密着型の子ども食堂では出来るのではないかと考えてます。(熊本県)

[ケア]

・やはり「食」を通して笑顔や美味しさ、安心感などへ少しでも繋げられたらなと思います。こども食堂は、親御さん始めお子さん方みんなの事を応援してるよ！っていう心みたいなものも届いたらなあとも思います。(東京都)

・この6回の食材のお届けは私達の絆をととても強くしてくれたと思っています。お母さんからは少しづつ本音が出てきたり、子ども達はわざわざ外で待っていてくれたり、楽しみにしてくださっているご家族ばかりです。今一番大切なのは食材もそうですが、お母さんが1人では無いと感じてもらふことだと思っています。会うことで喜怒哀楽を出して自分を見失わないでほしいと願っています。(神奈川県)

・学校が長期にわたり休校になっているため、心ばかりのプレゼントだけでも、十分喜んでもらえるように感じています。私どもでは、先週末、賞味期限の都合で、手持ちの食材とお菓子を登録会員に分配したところ、御礼のメールやお手紙を受領しました。手に入りにくいマスクも好評でした。(神奈川県)

・食事の配付というきっかけを通じて「〇〇食材が入ったから」「弁当持っていくね」などの保護者も含む会うきっかけとしての声かけが連日不安な感情に安らぎを持たせ、孤立感を防ぐサポートになることだと感じています。(富山県)

・人を集めて食事や居場所を提供する活動はできない。再開も、しばらくは不可能。では、食材料を配る拠点としての方向が今いちばんのように思います。情報提供や、物品お渡しの際に、各家庭の無事の確認・ストレス発散になるように。(大阪府)

・食事などを提供するだけでなく、一緒に食べて、傾聴してあげることが大切であるように感じます。傾聴してあげるだけで気持ちが軽くなったり、孤独に感じることの軽減ができると感じます。(熊本県)

・ネグレクトや虐待など、困難を抱えた子どもがいるし、休校や保育園・学童の縮小で、家庭でストレスを抱えた親子がいる。毎週の配食で顔を合わせることで「ホッとする」という声もある。私たちは「配食」「お届け」することで、子ども達・家庭の様子を見ている。(熊本県)

・パントリー活動を通してふだんのこども食堂には参加していない人たちとつながった。前半開催時は、食材を渡すだけでなく、1家族に1スタッフがついてヒアリングをしながら行ったがそこで見えてきたのは、多くの家庭、特に1人親、は食材のみでなくてつながりを求めていると感じた。そうした意味ではこの具体的ツールとしてのパントリーはとてもいいツールだと思う。(東京都)

・フードパントリーの中で忘れていないこと、一人では無いことを伝えていければと思います。(兵庫県)

食材等の宅配・宅食

・4月に入り、宅配にきりかえました。食品や配送スタッフが足りず、困っています。本当はお弁当の宅配もやりたいのですが、お弁当を作る場がありません。どこかのお店とコラボして安く購入したいのですが、資金がなくこまっています。(東京都)

・ご家族33世帯(1人親家族)3月1日から毎週末この6回のお届けしてきましたが食材の内容、量など集めるのが難しくなってきました。また個人宅での仕分けもスタッフの安全を考えるとだんだん難しくなっ

てきました。宅急便で配達する家族が9世帯いますがその代金も財政を圧迫し始めてきました。助成金を申請したくても手続きする人材が不足しているためなかなか申請出来ずにいます。(神奈川県)

・少なくともこれから半年～1年くらいのスパンで使える100万円規模の助成金。人件費にも使えるようであれば、150-250万円規模の助成金が必要です。宅配は送料もかかってしまうため、物流会社がCSRとして何らかの協力を得られたらと思います。(宮城県)

・ケータリングカー貸してもらえれば地域まわります。(東京都)

ストレス

[子ども]

・私の地域では、公民館が利用できず他のレンタルスペースや公園を使って子ども達のストレス発散を目的にした、無料運動教室とお絵かき教室(次会は、オリジナルマスクづくり)などを窓と扉を全開にして実施しています。残念ながら食事の提供は、自粛しています。(東京都)

・お母様方の声はもうお家の中で過ごすにもネタ切れ。飽きてきているので、ちょっとした遊び道具やお菓子。栄養の事や各家庭の考え方で違いは在るが子ども向けカップラーメン(ポケモン)や子ども向けレトルトカレー(キャラクターパッケージ)や子ども向けふりかけ(キャラクターパッケージ)など普段家庭では自ら購入しない物など(が必要)。(埼玉県)

・家庭に居場所のない子どもたちが、学校を始めどこにも逃げ場がなくなっていることがとても心配。また、家庭環境によって学習の格差が広がることもとても心配。さらに、長い自粛生活が子どもたちの心に計り知れない影響を与えることを危惧している。(埼玉県)

・ストレス緩和、心のケア/友達と思いきり遊びたくても遊べない、日中は親が仕事の為ずっとスマホかゲーム三昧。録画も観つくしました。後3週間どうやって過ごそうか?といった家庭が多いです。(千葉県)

・子どもたちが安心して過ごせる居場所 又 子どもたちの話を聞く場所(カウンセラー等)(が必要)。(東京都)

・家を出られない子たちに支援食材を配るついでにルービックキューブ、けん玉、ヨーヨー、トランプ、オセロ、黒ひげ危機一髪などのおもちゃの貸し出しもしたい。(手持ちはない)。(神奈川県)

・心の支援。家族以外に、近くに信頼できる大人がいると確信して、食べられない事もしかり、なんでも話ができるところがある事が、支援になるのではないかと思う。子ども食堂が、今は会えないけど、困った時に連絡したら、何か力になってくれる場所と意識づけをしたい。(福井県)

・子どもたちも、相当なストレスを感じていますので、楽しみや、笑いを提供する努力をしていますが、1人の力に限界を感じています。どうか、尖った若者たちを見て、子ども食堂の在り方や、癒やしの時間を共有させてください。そのためには、小さなお菓子や、手渡せるプレゼントが、最高です。(茨城県)

・お手紙などを送ったり、古本を届けたり、食以外にもできる事を楽しんでいます。(福井県)

・自宅で楽しく過ごしてもらうために玩具の貸出もおこなっています。(山形県)

[親]

・親子でのストレスをどう軽減するかだと思いますがこども食堂としてとなると難しい課題です。フードパントリーをした際にお子さんが持病を持っているということで個別に事務所でお渡ししたのですがお母さんが久しぶりに人と会話したと言って、子どもの事や仕事の事などお子さんが「帰ろうよ～」と言っても話が止まらない方がいました。電話など個別にお話しを聞く時間が取れるといいのかな～と感じました。(岩手県)

・保護者のストレスが溜まっている。ご飯を作り続ける事に、まいっているようだ。(大阪府)

・こどもの食事もありますが、お母さん方の精神的、肉体的、経済的ストレスがすごいです。(奈良県)

・学校再開からまた休校となり、保護者からはいつまで続くかわからないことへの不安の払拭も必要ですし、子どもと一緒に過ごす時間が増え、会社も休業、今まで以上に共に過ごす時間が増え、ストレス・負担により家庭生活崩壊を招く恐れがあったり、相談対応の必要性も感じてます。(熊本県)

[どちらも]

・心の支援(が必要)だと思います。(北海道)

・子どもも大人もストレスがたまっています。自宅などでも息抜きができるようなアイデアやアイテムの紹介。オンラインでお友達と会えたり、育児相談等(が必要)。(埼玉県)

・子供達へは、安心して遊べる場所やお母さん達には、3食の食事や育児から少しでも離れられる時間(が必要)。(埼玉県)

・外出自粛の為ファミレスやファーストフードにも行けなくて皆さんストレスもたまっている様です。親も子ども心のケアをしてあげたいのでパントリーとして食材を届けた時に少しのお声がけをして話しを聞いてあげる。(埼玉県)

・大人もイライラしている状況で、子どもが一番しわ寄せを受けている。一緒に学んで一緒に過ごし、一

一緒に食べることの大切さをしみじみ感じている。(福井県)

- ・辛い気持ちを傾聴し共感できる場があると少しは頑張る気持ちになれるのではないかと思います。(福井県)
- ・吐き出せる居場所と、食べられるという安心感。(兵庫県)

食以外でのつながり(オンライン活用等)

- ・4月は食材配付に切り替えたものの、つながりの必要性を感じZOOMでのオンライン学習を実施。(福島県)
- ・いつも来られる利用者さんからは「ストレスが溜まってる」「吐き出し口がなくて子どもに辛く当たってしまった」など聞くことが多くなりました。※こういう連絡を頂いたお母様方と今週金曜にLINEのテレビ電話でチャット飲み会をしてみる事にしています。(熊本県)
- ・また、子どもたちが孤立したり、問題や課題・悩みを抱えずこの状況を愉しめるような関わりができないかと考え、文通事業を始めました。同事業は同時に、親や家庭を孤立させない・悩みを深刻化しない予防としても進めています。文通事業に欠かせない珍しい切手や美しい切手の寄付が得られたり、子どもたちと文通をしてくれるメンバーが増えたら助かります。(宮城県)
- ・とにかく繋がること。オンラインや電話などで連絡をとって、様子を聞いています。またオンライン学習支援なども実施しています。(神奈川県)
- ・今の子どもたちはスマホを持っている子どもが多いので、SOSを受け取ったら動ける子ども食堂さんの【全国子ども食堂LINE@ 一覧】みたいなものが出来て、それをメディアやSNSを使って拡散出来たら、多くの子どもたちに届いて、友だち追加してもらえたら、県や市などの行政とは繋がれていないが、困っている世帯、食料に困っている子どもに、必要なものを届けることが出来るかもしれません。(愛知県)
- ・継続支援が必要な子ども達が多く心配なのでLINEなどでお話ししています。(滋賀県)
- ・チャイルドラインのような子どもが救済を求めるチャンネルが必要。(広島県)
- ・Webで一緒に食べよう！をタイトルとして、お弁当配布で(予約)zoomを使って子供達同士の交流をしながら画面上で一緒にご飯を食べるといのは、楽しかったようです。(熊本県)
- ・なるべく支援しているご家庭にはLINEやメールを入れるようにしています。(東京都)
- ・ラジオの人生相談のように相談出来たらとか、LINE@でメッセージくれた子どもにお返事を返すなど、出来るといいなど思うのですが、文字だけのやり取りになるので、言葉のチョイスが難しく、訓練や勉強もしていない素人が急に出来ることでもないのかもしれないと思ってしまう。(愛知県)

情報連携／個人情報

- ・開所3年目に入り、少しずつ利用者と顔の見える関係を築き始めたところであり、必要としている家族がいる事がわかっているのに、個々にアクセスする手段がなく、何もできないことがもどかしい。(埼玉県)
- ・食材の宅配にしても、子供たちや家庭の届け先が分からないので、やってもせいぜいバラマク事しかできない。こども食堂で宅配をやっているところがあるとすれば、個人情報の問題をどうクリアしているのだろうか？(千葉県)
- ・支援を必要としている子ども達がどこにいるのか分からない事が歯がゆい。これまでは紛れていることを前提に取組をしてきたが、これだけ長期になると対象の子どもたちの情報があれば何とかしてやれるのに、と考えてしまう。(青森県)
- ・守秘義務の壁を越えた支援が必要な児童の情報提供(が必要)。(熊本県)
- ・個人情報保護と民間の良さを生かした活動、両立するところ、重なり合うところはどこなのか、ないなら作っていいのか、を考えています。(北海道)
- ・貧困や虐待などに起因する不登校児童が増えています。また、一人暮らしで引きこもる高齢者も増えています。しかし、本当に支援を必要としている環境にある子供、保護者、高齢者にはなかなかこども食堂の情報が届いていないと感じています。個人情報保護の関係で世帯の状況が町内会や民生児童委員との間で共有できないため、民間の支援を届けることが難しい現状があります。(北海道)
- ・大変特殊な状況が起きてきていて、普段から連携が出来ていないための「穴」がさうとうある気がする。地区社協には、再三、情報交換会を呼び掛けてきたが、音沙汰がなくなっていて、大変いま歯痒い思いです。(千葉県)
- ・今、まさに考えてほしいことは、子育て支援課、教員委員会、公民館等の施設管理課等が情報を共有して頂いて、支援を待っている家庭に適切な支援が届くように私どもの子ども食堂を活用して頂ければと思います。(長崎県)
- ・自分が関わっているご家庭については状況の把握が出来ていますが、市内他校区・他地区について課題を抱えていらっしゃるご家庭・子どもさんの把握が出来ておらず、行政・社協との連携の必要性をさらに強く感じました。(熊本県)
- ・支援が必要な児童の情報がわかれば、その児童に必要な支援ができるが、守秘義務の壁で動きが取れないので、活動(5年目)の実績がある、行政からの信頼があるなどの団体へは情報開示して欲しい。(熊本県)
- ・学童支援(ランチ提供)に対する行政から理解を得られず、公設公営の学童に支援が出来ない。(群馬県)
- ・家から出れずにストレスが溜まっている家庭が非常に多い。戸別訪問による安否確認ができるような行政との連携が必要である。(和歌山県)

不安・批判

- ・事務所の近くで焼き肉店でコロナウイルス陽性がでて、戦々恐々としながら毎日鳴り止まないSOS 対応しています。(秋田県)
- ・子ども食堂を開催することへの理解をもっと高めたい。閉鎖すべき論もありますからね。(福島県)
- ・ただ、子ども食堂に来ていない「周囲」から、この状況で集まりを持つのか！何かあったらどうするのだ！という圧力があるので、開催をやめた。(埼玉県)
- ・なんでも自粛の風潮の中で、活動する肩身の狭さ。(埼玉県)
- ・行政は困窮家庭への状況に共感的でパントリーの開催にも協力的であったが、こんな時期に開催しているのか？という声が地域から聞かれた。世間というものはこういうものだと言われしさを知った。(東京都)
- ・人と会えば必ず感染リスクが上がるので、こどもたちも、こどもの家族も、わたしたちスタッフも心配だ。コロナにより、近隣の視線が厳しくなった。とにかく、気疲れがする。(神奈川県)
- ・社会福祉協議会へ「この状況でもまだ開催しているこども食堂があるが、衛生的に大丈夫か」等のクレーム電話が入っている。(大阪府)
- ・地域の人々の理解、協力が得られない。壁が高すぎる。(兵庫県)
- ・自粛なので、子供食堂してもいいの？と言われることもあります。(奈良県)
- ・普段から「うるさい」と怒鳴り込んできたり、役所に通報する人がいる。配食をしていることについて、「子どもが集まっている」等の通報をされることを怖れている。(東京都)
- ・なんらかの権威による認定食堂となれば、堂々と食事提供ができと思っていますが…。(東京都)
- ・厚生労働省からは「こども食堂に対して公民館等の利用に配慮を」と通知は出ていても、現実には利用できないのが現実だが、こうした状況がまだ続くことが考えられる中では、こうした「配慮」が地域でも受け入れられるように、市役所(市長)からメッセージが欲しいと思う。(山口県)
- ・子ども食堂の開催は世間的に反対の意見が多数有り難しいです。食事(お弁当)もボランティアの集まりが難しく開催出来ません。(千葉県)
- ・迷い、悩みながらやり方を模索して継続していますが、こんな時にまだ開けてるのか、という無言の圧力も感じます。同じ地域内のこども食堂は軒並み中止です。何が正解かわかりませんが、全国の継続しているこども食堂さんが悪いことをしているような気分にならないように願うばかりです。(大阪府)

葛藤・苦悩

- ・会場が、レストランであること、ボランティアさん、家族、すべてに感染の可能性があるなか、誰にも迷惑のかからないようにと、祈る気持ちと、ニーズに応えなければ、本当困る子どもたちが居る！なんとか一食でも渡したい。という気持ちが、毎回ぶつかり、苦しい。(東京都)
- ・少人数なら屋外活動可能と計画したものの、やっぱり感染のことを考えると、呼びかけ後すぐに中止のお知らせとなったことが悲しい。チラシを渡したら子どもたちは喜んで、「絶対に来るからね」と言ってくれた言葉が残っています。(滋賀県)
- ・子どもたちは、久々に会った友達と遊ぶことが楽しかったようです。保護者の方々は、臨時休校が続き、食事の準備が大変だったと言っていました。そんな中、子ども食堂が再開されたことで、とても楽になったとも言ってくれました。必要としてくださる方がいるので、続けたい気持ちは山々です。(北海道)
- ・休止、開催いずれも実践者の心は揺れ動いている。そんな中で子ども食堂が制度の補完であるようなマスコミ等の取り上げ方には抵抗がある。(千葉県)
- ・本当に困っているところ、本当に必要としているところに手が届いていない不安が常にある。(東京都)
- ・自分がコロナに罹るか、心配な子が飢餓に苦しむか、命綱であった学校給食の再開の見通しが立たず、どこまで支援すべきか迷っている。子育て支援は、やればやるほど親のチカラを奪ってしまう側面もあり、何日かおきに食べ物を持って訪ねている。(東京都)
- ・対面の支援がはばかれる今、何をしても感染者を出せば全国の子ども食堂等の支援の世界に打撃が出る。動かなければ成長期なのにカップ麺すら与えられず育つ子どもがいる。子どもを養育する大人に対し子どもがどれだけ守られるべき大切な人かを伝えることをあきらめてはいけなと奮い立たせては見ます。が、正直しんどいです。(香川県)

その他

- ・「命をつなぐ食糧宅配」(秋田県)
- ・こども達にも同じ食材ではなくなるべく目新しい、簡単に食べられる食事セットを考えていますが大変。(東京都)
- ・全国でコロナにめげず開催をしている事例が欲しい。(福島県)
- ・必要な支援は、こども食堂を休止すること。安易に開催すべきではない。(東京都)

- ・ローテーションで学校を使えるようにするなど、人と場所を提供する努力などしてほしい。(東京都)
- ・安全対策の学習会と研修会……スタッフ用にコロナ感染拡大防止におけるプロ養成講座が必要。その費用の捻出。(熊本県)
- ・アフターコロナの計画を一緒に考えるチームも欲しいなあ。オンライン勉強会しませんか？(福島県)
- ・こども食堂実践者がもっとこえをあげて、自宅に留められているこども達の安否の確認をこども食堂にさせるのではなく、行政が責任を持って見守るべきと伝えていくことが必要だと思います。(東京都)
 - ・学校からの書類が読めない家庭が多い(外国籍)。今後、支援金などが出ても日本語だけの書類と情報しかなければ、もらえずに困窮する家庭が急増する危険がある。(神奈川県)
- ・フードバンク(セカンドハーベスト名古屋)から食材をいただいて配布していますが、フードバンクにもなかなか届かないそうです。ボランティアスタッフも高齢なので、縮小しつつ活動しています。フードバンクのおかげで活動が成り立っています。本当にありがたいことです。フードバンクへの支援も必要かと思っています。(愛知県)
- ・備蓄できる食料品(レトルト等)はいつでも何個でも有り難い。ただ、贅沢は言えないが、こどもたちも飽きてしまうので、少し変化のあるものもあればいい。お菓子も嬉しいとは思いますが、お菓子ばかりになって栄養・運動不足が心配される。(兵庫県)
- ・こども食堂や子どもたちへの活動は少人数(一度に10人程度まで)で新型コロナウイルス感染防止に努めながら続ける必要があると強く思う。全ての活動を自粛してしまうと子供たちの居場所がなくなりストレスの発散ができない。子供や家庭が抱える課題の発見ができない。(和歌山県)
- ・今こども食堂しかできない動きがあると痛感しています。そして地域の居場所のような活動が、いかに重要であるかを全国に知ってもらおう大きな機会であると思います。何でも協力しますので、お声がけください。(和歌山県)
- ・いつもは公民館の調理室で、子どもたちと一緒に調理して食べています。3月2回と4月で1回は山や川のそばでデイキャンプのようなこども食堂を開きました。自然の中で異年齢の友達と魚やエビを捕まえ、ワラビ・ヨモギなどの山菜を集め、天ぷらにして食べる。親からも楽しかったとの声。今回のことが無かったら私たちは、屋外での活動を考えもしなかったでしょう。田舎の良さです。(広島県)
- ・こども食堂の開催ができず、個人の力の弱さと、お弁当の配布を検討した際に、営業許可などのハードルの高さを感じました。(神奈川県)
- ・食品会社などコロナ騒ぎで納入品が余り、是非使って欲しいと、冷凍食品を沢山頂くが、冷凍庫が足りなくて保管できない。(東京都)